

## 【中学1年】子供の成長に合わせて親もバージョンアップ！そのときに意識しておく、4つのこと

中学生になった子供たちの中には、いつまでも子供っぽく、まだ小学生の延長のような子供がいるかと思うと、おませで大人びた子供もいます。

おませな子や大人びている子は、親に反抗するような態度を取り、対応に手を焼くことがあります。反抗する子供にはそれなりの事情があるのでしょう。中学生の子供の意識は、親が想像するより早く、自立に向けて「大人バージョン」になろうとしています。そして、この子供の変化に親が追いつけていないということが起こりがちな時期でもあります。

意識は大人バージョンになろうとしている子供も、表面では、「未だ子供の感じ」なので、その見た目につられて、それまでと同じように子供扱いをすると、反抗はますます強くなることを覚えておきましょう。

大人は、子供なりの事情をきちんと「聴く」態度を示すことが大切です。そのためには、大人側もバージョンアップして対応する必要があります。

この大人のバージョンアップは、相当意識しないと上手くいかないかもしれません。

親側が上手くバージョンアップするためには、4つのことを意識しましょう。

- (1)子供の言動に過剰に反応しないこと。親が興奮すると、売り言葉に買い言葉で、子供も收拾がつかなくなります。
- (2)家庭内で子供を「殿様」扱いしないこと。子供の要求の許容範囲を事前に決めておきましょう。
- (3)子供に対して、親も大人対応をすること。話す時は、穏やかに、近づいて、静かに心をかけたものです。
- (4)子供の様子を見ながら、きちんと「聴く」体制を整えておくこと。今は話せる状態かどうか確認しましょう。

とは言え、頭では理解しても、なかなか意識できないものですよね、だって目の前にいる子供の顔つきや、体つきは、まだまだ、あとけないのですから。子供の内面が少しずつ成長しているこの時期、親も一緒にステップアップしましょう。

執筆：認定特定非営利活動法人育て上げネット 「結」相談員 森 裕子・墓田 薫

「ニート・ひきこもりの子をもつ親の会『結』」  
(運営：認定特定非営利活動法人育て上げネット)

若者の「働く」と「働き続ける」を実現するために、若年無業者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」など、多方面からの支援を行っている「認定特定非営利活動法人育て上げネット」の活動の一つで、親をサポートするための会。1か月ごとの定期相談やすぐ実施できる「接し方・伝え方」ワークショップ、親同士の気軽な茶話会などを提供している。

